

製品名: AMPK アルファウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe85224

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 62 kDa; Observed MW: 62 kDa

抗原情報

遺伝子名	AMPK alpha PRKAA2; AMPK; AMPK2; 5'-AMP-activated protein kinase catalytic subunit alpha-2; AMPK subunit alpha-2; Acetyl-CoA carboxylase kinase; ACACA kinase; Hydroxymethylglutaryl-CoA reductase kinase; HMGCR kinase
別名	
遺伝子 ID	5563.0
SwissProt ID	P54646
免疫原	ヒト AMPK α 2 の組み換えタンパク質

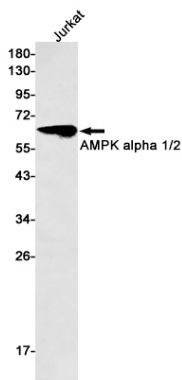
背景

AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) は、酵母から植物、動物に至るまで高度に保存されており、エネルギー恒常性の調節において重要な役割を果たしています。AMPK は、触媒 α サブユニットと調節 β サブユニットおよび γ サブユニットからなるヘテロ三量体複合体であり、各サブユニットは2つまたは3つの異なる遺伝子 ($\alpha 1, 2$; $\beta 1, 2$; $\gamma 1, 2, 3$) によってコードされています。AMPK は、熱ショック、低酸素症、虚血などの細胞ストレスや環境ストレスによって AMP/ATP 比が上昇すると活性化されます。

研究分野

オートファジー、Wnt シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路

画像データ



AMPK アルファ抗体を使用した Jurkat 溶解物中の AMPK アルファ 1/2 のウェスタンブロット分析。